

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【公表番号】特表 2018-531056 (P2018-531056A)

【公表日】平成 30 年 10 月 25 日 (2018.10.25)

【年通号数】公開・登録公報 2018-041

【出願番号】特願 2018-510847 (P2018-510847)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/04 (2006.01)

A 6 1 B 5/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/04

A 6 1 B 5/16 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 13 日 (2019.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの振動要素および種々の振動周波数で前記振動要素に振動を引き起こす手段と、心臓信号または呼吸信号の監視手段と、データ処理手段とを備えている、ストレスの自己調節を補助するための装置であって、

前記データ処理手段は、前記心臓信号または前記呼吸信号に基づいてストレス指示値を計算するための手段を含み、前記データ処理手段は、前記振動要素に引き起こされる 1 つ以上の周波数の振動を含む機械振動リズムを前記ストレス指示値に基づいて決定する手段を含むことを特徴とする、装置。

【請求項 2】

前記装置は、着用または装用可能である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記データ処理手段は、測定される心拍または呼吸数ならびに前記計算されるストレス指示値と、前記引き起こされる振動リズムとの間の継続的なリアルタイムのフィードバックループを生成するように構成されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記引き起こされる振動は、30 ヘルツ未満の近超低周波であることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

当該装置は、当該装置の前記振動要素がユーザの身体の胸郭領域に位置するように当該装置をユーザに取り付けるための取り付け手段を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記取り付け手段は、ユーザの胴の周囲に取り付けられるベルトまたはハーネスであることを特徴とする、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

当該装置は、衣類の一部を形成することを特徴とする、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 8】

当該装置は、少なくとも１つのセンサを含む、請求項１に記載の装置。

【請求項９】

前記呼吸信号の監視手段は、運動センサを含む、請求項１に記載の装置。

【請求項１０】

前記少なくとも１つのセンサは、電位心臓センサを含む、請求項８に記載の装置。

【請求項１１】

前記少なくとも１つのセンサは、歪みセンサを含む、請求項８に記載の装置。

【請求項１２】

前記少なくとも１つのセンサは、温度センサを含む、請求項８に記載の装置。

【請求項１３】

前記少なくとも１つのセンサは、ｐＨメータを含む、請求項８に記載の装置。

【請求項１４】

前記少なくとも１つのセンサは、画像センサを含む、請求項８に記載の装置。

【請求項１５】

前記恒常的なフィードバックループは、ニューロンのリズムを１３ヘルツ未満に調整する、請求項３に記載の装置。